

.....  
2017年7月7日（金）開催 財務報告実務検定・会員向けセミナー

～適時開示のミスを防ぐキーコントロールを学ぶ～

適時開示の仕組みと体制作り

&

～定款変更から税務申告期限延長まで～

対話型株主総会を実現するために何をすべきか  
.....

【プログラム】

（第一部）

時間 14：00～15：00

～適時開示のミスを防ぐキーコントロールを学ぶ～

適時開示の仕組みと体制作り

講師： [事業創造大学院大学](#)

准教授

鈴木 広樹 様

（第二部）

時間 15：00～16：00

～定款変更から税務申告期限延長まで～

対話型株主総会を実現するために何をすべきか

講師： [小笠原六川国際総合法律事務所](#)

代表パートナー

弁護士 六川 浩明 様

【ご案内】

このたび財務報告実務検定事務局は、上記の2本立てのセミナーを開催いたします。

第一部では、適時開示のプロフェッショナルである[事業創造大学院大学](#)の准教授 鈴木 広樹 様をお招きし、「～適時開示のミスを防ぐキーコントロールを学ぶ～適時開示の仕組みと体制作り」と題して、証券取引所が上場企業に求める適時開示について、「いかなるときに適時開示が必要になるか」「適時開示とはどのようにして行うものか」「証券取引所の定める適時開示ルールに違反した場合のペナルティ」といった制度や仕組みについて解説いただきます。また、上場企業が適時開示のルールを守るために社内に構築すべき体制（適時開示の漏れやミスを防ぐために構築すべき内部統制のうち要点となるキーコントロール）についても解説していただきます。適時開示の担当者だけでなく経理部門・総務部門の担当者

にも必ず役に立つ内容です。

第二部では、財務報告実務検定【開示様式理解編】の試験委員であり、上場企業の社外役員として及び株主総会事務局員として、毎年多くの株主総会実務に携わっている[小笠原六川国際総合法律事務所](#)の代表パートナー 弁護士 六川 浩明 様をお招きし、「～定款変更から税務申告期限延長まで～対話型株主総会を実現するために何をすべきか」と題して、投資家との対話に資する株主総会の開催に向けて会社が実施すべき施策について詳しく解説していただきます。コーポレートガバナンス・コードの導入により、上場企業は株主との対話に積極的に取り組むことを求められています（コードの原則1－2）。株主総会は上場企業が株主と対話する重要な場であるため、上場企業は対話がより進むよう「招集通知の早期発送」「招集通知の発送前 Web 開示」「英文招集通知の開示」「株主総会の開催月変更」など様々な策に取り組む必要があります。とりわけ株主総会の開催月変更（3月決算企業が7月に株主総会を開催するなど）は、税制の手当ても行われたこともあり、新しい取り組みとして注目されています。本セミナーでは、そのような諸施策実施にあたっての留意点も実務担当者向けにかみ砕いて解説していただきます。総会担当者や IR 担当者の実務に直結するセミナーです。

鈴木 広樹 准教授及び六川 浩明 弁護士は、『金融商品取引法における課徴金事例の分析（1）インサイダー取引編』（2012年、商事法務）、『金融商品取引法における課徴金事例の分析（2）虚偽記載編』（2012年、商事法務）の共著者でもあります。

■開催日時：2017年7月7日（金）14:00～16:00（受付 13:30～）

■開催場所：エムワイ会議室 高田馬場 RoomG

東京都新宿区高田馬場1-29-9 TDビル9F

JR 山手線・西武新宿線「高田馬場」駅 戸山口 徒歩2分

東京メトロ東西線「高田馬場」駅 5番出口 徒歩5分

<http://meijiyasuda-life-hall.com/kashikaigishitsu-takadanobaba/access.html>

■定員：40名（定員になり次第締切）

■受講料：財務報告実務検定会員ならびに IPO 実務検定会員は無料。それ以外の方は消費税込 10,800 円。

■申込方法：セミナーへの**お申込み**はこちらからお願いいたします。

[http://zaimuhokoku.jp/form\\_seminar20170707/index.html](http://zaimuhokoku.jp/form_seminar20170707/index.html)

■主催：財務報告実務検定事務局（一般社団法人日本 IPO 実務検定協会内）

#### 【講師略歴】

（第一部）

鈴木 広樹 様

[事業創造大学院大学](#) 准教授

早稲田大学政治経済学部卒

公認会計士試験・税理士試験ともに合格

出版社にて法律書編集、証券会社にて企業審査に従事。宝印刷グループの総合ディスクロージャー&IR 研究所客員研究員も務める。

『タイムリー・ディスクロージャー（適時開示）の実務』（税務研究会）、『検証・裏口上場ー不適當合併等の事例分析』（清文社）、『適時開示実務入門』（同文館出版）など著書多数。

-----  
（第二部）

[小笠原六川国際総合法律事務所](#)

代表パートナー 弁護士 六川 浩明 様

一橋大学法学部卒、民間企業を経て弁護士（第一東京弁護士会）、米スタンフォード大学客員研究員等を経て平成 20 年より現職。

千葉大学法科大学院講師（平成 15 年～19 年）、成城大学法学部講師（平成 21 年～23 年）

、早稲田大学講師（平成 25 年～27 年）、東海大学法科大学院教授（平成 24 年～平成 29 年）

を歴任。上場企業数社の社外取締役及び社外監査役。宝印刷グループの総合ディスクロージ

ヤー&IR 研究所上席研究員及び財務報告実務検定【開示様式理解編】の試験委員も務める。  
『適時開示の実務 Q&A』（共著、商事法務、2016年）、『臨時報告書作成の実務 Q&A』（共著、商事法務、2014年）、『ディスクロージャーの業務がわかる』（共著、税務経理協会、2013年）、『金融商品取引法 課徴金事例の分析 インサイダー取引編』（共著、商事法務、2012年）、『金融商品取引法 課徴金事例の分析 虚偽記載編』（共著、商事法務、2012年）、『会社分割の税務・会計・法律と諸問題』（共著、中央経済社、2011年）、『プライバシー影響評価（PIA）と個人情報保護』（共著、中央経済社、2010年）、『会社法入門』（共著、アスキーメディアワークス、2010年）、『内部統制制度の運用と課題-会社法と金融商品取引法の相関関係-』（共著、中央経済社、2009年）、『要点解説 金融商品取引法』（共著、中央経済社、2007年）、『コーポレート・ガバナンス報告書 分析と実務』（共著、中央経済社、2007年）など著書多数。

【エムワイ会議室 高田馬場 Room G 地図】

